



『夕凪の街 桜の国』(手塚治虫文化賞新生賞、文化庁メディア芸術祭マンガ部門大賞)、『この世界の片隅に』(文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞)等で知られる、漫画家・こうの史代の全貌に迫る初の大規模原画展！漫画原画500枚以上！カラーイラスト、挿絵原画、絵本原画、資料等も多数展示します。

開催概要

タイトル：漫画家生活 30 周年 こうの史代展

鳥がとび、ウサギもはねて、花ゆれて、走ってこけて、長い道のり

会期：2026 年 1 月 4 日（日）—3 月 8 日（日）

会場：熊本市現代美術館 ギャラリー I・II（熊本市中央区上通町 2-3 びぶれす熊日会館 3F）

開館時間：10:00—20:00（入場は 19:30 まで）

休館日：火曜日

観覧料：一般 1,300 円（1,100 円）、シニア [65 歳以上] 1,000 円（800 円）、

学生 800 円（600 円）、中学生以下無料

※各種障害者手帳をご提示の方と付き添いの方 1 名無料（身体障害者手帳、療育手帳、

精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳等）

※（）内は前売り／20 名以上の団体／電車・バス 1 日乗車券等をご提示の方

※うえるかむパスポートをご提示の方は無料

※前売り券は 12 月 28 日（日）まで販売。

開館時間：10:00～20:00（入場は 19:30 まで）

主催：熊本市現代美術館（熊本市、公益財団法人熊本市美術文化振興財団）、

熊本日日新聞社、KKT くまもと県民テレビ

後援：熊本県、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本県文化協会、熊本県美術家連盟、

熊本国際観光コンベンション協会、J:COM 熊本、エフエム熊本、FM791

協力：吳市立美術館、コアミックス、朝日新聞出版、日本文芸社、平凡社

特別協力：崇城大学芸術学部 デザイン学科マンガ表現コース

企画：青幻舎プロモーション

監修：福永信

日本を代表する漫画家・こうの史代の画業に迫る展覧会です。デビュー前のイラストから最新作まで、500 枚以上の漫画原画と下書きやメモなど多数の貴重な資料群を通して、漫画家生活 30 周年の道のりをたどります。

当館は、開館当初より漫画を現代アートのひとつとして扱ってきました。また熊本県は近年「マンガ県くまもと」を掲げています。漫画の専門学科を設けている大学や高校もでき、漫画への注目度が高まっています。本展では、そんな「マンガ県」ならではのイベントの数々と、膨大な原画展示によって、多彩なこうの史代の魅力を紹介します。

こうの史代にはアシスタントがいません。一人で描いているからこそ、その原画には「一枚の絵」としての魅力があります。一貫した愛らしいタッチと、一作ごとに異なる挑戦に溢れています。紙の上にどこまでも広がる、漫画表現の可能性をお楽しみください。

みどころ

漫画家こうの史代の過去最大の展覧会

大ヒット作『夕凪の街 桜の国』『この世界の片隅に』の原画展はこれまで数多く開催されてきましたが、デビューから現在までを網羅した大規模な回顧展は、本展が初めてです。500枚以上の漫画原画を展示するほか、膨大な挿絵原画、絵本原画、作品のコンテやメモ、ブログ「こうのの日々」に登場するスケッチブック、制作風景を記録した初公開の映像など、こうの史代の画業のすべてがわかる展覧会です。



『この世界の片隅に』2007年
© こうの史代／コアミックス

貴重なデビュー前の原画も展示

デビュー前の原稿、また高校生の頃に制作した漫画の原画も展示いたします。すでに「こうの史代」ならではのタッチが、読者を今でもほんわか、楽しい漫画の世界に誘います。



WEEKLY 漫画アクション新人賞募集イラスト、
1992年 © こうの史代

「1枚の絵」としての漫画原画

こうの史代はその初期からアシスタントを起用せず、原稿をすべて一人で描いています。着彩も本人がやっています。また一部を除いて、スクリーントーンをほとんど使用していません。原画で私たちが見ているのは、こうの自身の手によって描かれた線です。「1枚の絵」として、その線の躍動する魅力、新鮮な色彩の力を感じていただけると思います。



『長い道』2001年
© こうの史代／コアミックス

展示は「読める」ように工夫

連載作品の場合は1話単位、短編は全ページを基本に原画を展示いたします。こうのが構成したストーリーを分断せず、制作しているその時の「漫画家の気持ち」を体感することができます。各単行本のカバーのカラー原画も必見です。



『かっぱのねね子』2001年
© こうの史代／朝日新聞出版

当館のみの描き下ろしも展示

熊本会場オリジナルの「あとがき」を展示スペースの最後に展示いたします。

こうの史代は、今年で漫画家生活30周年を迎えます。

こうの史代の漫画は、デビューの最初から、キャラクターも、背景も、等しく愛らしいタッチで描かれています。それは4コマ漫画でも、ほのぼのショートストーリーでも、神話ものでも、戦争ものでも変わりません。戦争ものだから急にシリアルズに、というふうに描くことがないのです。これまでの作風の流れを切斷しないことで、すべてがつながっている、読者はそう感じます。見た目は愛らしいけれども、力強さ、柔軟さ、しぶとさがその線には宿っています。

こうの漫画は、愛らしいタッチのまま、実に多彩です。どれをとっても、似た作品がありません。ひとつの作品を描くごとに、新しい、まだ見たことのない漫画表現の可能性へ向けて、一歩ずつ歩き続けているからです。こうの史代のいる場所から見ると、見慣れたはずの「漫画」という表現が、新鮮な姿に見えてきます。ほら、まだこんなに描くことがあるよ、というように。そう、決してこうの史代は、一つや二つの作品で、象徴できる漫画家ではないのです。一人の漫画家として、こうの史代が歩いてきたすべての道のりを、この展覧会ではたどります。

本展は、一人で見に来たとしても、きっとさびしくないでしょう。それは、彼女のあたたかい、友達のような目線が、原画を見るあなたと見つめ合うからです。

福永信（本展監修者／小説家）

■こうの史代（こうのふみよ）プロフィール

1968年広島市生まれ。広島大学理学部中退。放送大学教養学部卒。

1995年、「街角花だより」の連載で漫画家デビュー。

インコとの日常を描く4コマ漫画「ぴっぴら帳（ノート）」で人気を博す。

ニワトリと少女のユニークな日々を綴ったショートストーリー漫画「こっこさん」、

子供の心を見開きページに釘付けにしたカラー漫画「かっぱのねね子」も同時期に連載。夫婦の気までコミカルな永遠の一日を捉えた「長い道」、こうの自身より年齢が上の主人公を初めて描いたドタバタ二世喜劇「さんさん録」でさらなる新境地を開く。原爆の被害とその後に続く“終わっていない”日々を真摯に紡いだ「夕凪の街 桜の国」を発表し、話題に。同作で第9回手塚治虫文化賞新生賞、第8回文化庁メディア芸術祭マンガ部門大賞受賞、映画化やドラマ化もされた。広島の軍都・呉の戦災を描く「この世界の片隅に」は、戦前から戦後まで、個人の時間を奪う戦争の惨禍のすべてを、日常の低い視点から力強く描いた。本作は第13回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞を受賞、またアニメーション映画（監督片渕須直）がロングラン大ヒットを記録。こうのにとっても集大成的な作品となった。その後も漫画という表現に対する好奇心は尽きず、非凡な才能炸裂のエッセイ漫画「平凡俱楽部」、ボールペンだけで古事記を忠実に漫画化した「ぼおるべん古事記」（古事記出版大賞稗田阿礼賞受賞）、東日本大震災の翌年から描き継がれている「日の鳥」、漫符を素材にした画期的な漫画図鑑「ギガタウン 漫符図譜」、百人一首と遊んだ 華麗なるカラー1コマ漫画「百一」など、ひとつとして似ていない作品を続々と発表。2025年4月には「ぼおるべん古事記」以来、12年ぶりとなる長編「空色心経」を刊行。般若心経とコロナ禍の日々を2色の糸で撚り合わせるように重ね、時空を超えた世界と日常を結んでみせた。同年同月刊行の最新刊に「ヒジヤマさん 星の音 森のうた こうの史代短編集」がある。現在、小説新潮で1ページ漫画「かぐやサン」を毎月連載中。ブログ「こうのの日々」では「空色心経」の制作過程やインコTさんとの日常、日々のスケッチなどを公開している。



■監修者 福永信（ふくながしん）プロフィール

1972年東京都生まれ。京都造形芸術大学（現・京都芸術大学）芸術学部中退。1998年、短編「読み終えて」でリトルモア・第1回ストリートノベル大賞を受賞し小説家デビュー。主な小説集に「アクロバット前夜」、「コップとコッペパンとペン」（表題作でユリイカZ文学賞受賞）、「星座から見た地球」、「————」、「実在の娘達」などがある。アンソロジー編集に「こんなちは美術」、「小説の家」（第4回鮎児文学賞受賞）、企画編集に「フジモトマサル傑作集」、展覧会企画協力に「カワイオカムラ ムード・ホール」展、「絵本原画ニヤー！ 猫が歩く絵本の世界」展、「芦屋の時間 大コレクション」展など。「遠距離現在 Universal/Remote」展図録に短編小説を寄稿。2015年、第5回早稲田大学坪内逍遙大賞奨励賞受賞。

関連イベント

1

こうのさんがおはなしするよ！オープニング記念 謹賀新年トーク

こうのさんが、漫画のこと、日々の暮らしのことをおはなします。

出演：こうの史代（漫画家）、福永信（本展監修者／小説家）

日時：2026年1月4日（日）13:00-14:00

会場：ホームギャラリー

定員：80名（当日先着順）観覧無料

2

こうのさんがライブペインティングをするよ！

この日は展覧会場内で絵を描いています。13時頃から描いています。

少し早かったり逆に遅く描き始めたりするかも。休憩もするのでいいときもあります。

日時：2026年1月5日（月）13:00-17:00頃 ※展覧会観覧料が必要です

3

こうのさんの1日漫画寺子屋！

こうのさんを講師として迎え、熊本の民謡「おてもやん」の漫画を描く1日講座です。

日時：2026年2月14日（土）10:30-18:30予定

会場：キッズファクトリー

要申込・先着15名（応募者多数の場合抽選）、対象年齢：中学生以上

参加費：1人1000円（材料代として）

4

こうのさんと壁にラクガキをしよう！

展覧会場の壁に、こうのさんと一緒にラクガキをしちゃうワークショップです。

会期中はラクガキも展示の一部になります。

日時：2026年2月15日（日）10:30-12:00予定

集合場所：展覧会場入口

要申込・先着20名（応募者多数の場合抽選）、対象年齢：小学生以上（小学生は保護者の同伴が必要です）

参加費：1人500円（原状復帰代として）※他に展覧会観覧料が必要です

5

こうのさんにお手紙が書けるよ！

会期中全日、会場内にファンレターを書くコーナーを設けます。展覧会を見てくださった方なら、どなたでもご参加いただけます。会期後にこうのさんに直接お渡ししますのでふるってご参加くださいね。

※展覧会観覧料が必要です

6

ギャラリーツアー

展覧会担当学芸員と一緒に展覧会を巡るツアーです

日時：1月31日（土）、2月22日（日）14:00-14:45

集合場所：展覧会会場入口（申込不要）

※展覧会観覧料が必要です

関連企画

1

月曜ロードショー こうの史代セレクション

無料の上映会「月曜ロードショー」にて、こうのさんが選んだ映画作品を上映します。

日時：2026年1月5日・12日・19日

2月2日・9日・16日・23日

3月2日・9日

①14:00- ②17:00-

※終了時間は上映作品によって異なります

会場：アートロフト

定員：90名（当日先着順） 入場無料

※上映作品は美術館のホームページでお知らせします

2

G3-Vol.163 CAMK コレクション こうの史代セレクション

熊本市現代美術館の収蔵作品から、こうのさんが選んだ作品を展示します。

日程：2026年1月15日（木）-3月15日（日）

※美術館の開館日時に準じます

会場：熊本市現代美術館 ギャラリーIII

観覧無料

記者発表

2026年1月4日（日）9:15～

*一般公開1月4日（日）10:00～

タイムスケジュール

9:00 受付開始

9:15 開会セレモニー

9:40頃 内覧会及び記者発表

※ホームギャラリーでのセレモニー終了後、内覧会及び記者発表に移ります

・内覧会

・記者会場案内（こうの史代及び担当学芸員によるツアー形式／約45分）

・個別取材・撮影タイム（約45分）

*記者発表および内覧会へご参加予定の方は事前にご一報ください。

*1月4日（日）以降も隨時ご取材を受付ますので、どうぞご一報ください。

注意事項

*作品保護のため、館内では鉛筆をご利用ください。お持ちでない方には貸出をいたします。

（ボールペン・シャープペンシルのご使用はお控えください。インク、先のとがったものによる作品の破損を防ぐためです。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。）

*作品保護のため、お手回り品（リュック等）が壁や作品に触れないよう、ご注意をお願いいたします。

（会場でご使用にならないお荷物はコインロッカーをご利用いただくか、お預かりも出来ますのでお声がけください。）

*受付でお名刺を1枚頂戴いたします。お持ちでない場合は芳名帳へのご記入をお願いします。

お問い合わせ先

熊本市現代美術館 学芸担当：稻垣 広報担当：穴瀬、里村

〒860-0845 熊本市中央区上通町2-3 びぶれす熊日会館3階

TEL：096-278-7500 FAX：096-359-7892 E-mail：gamadas@camk.or.jp



- ・美術館入口（びぶれす熊日会館3階）まで、通町筋電停又はバス停から徒歩1分です。電車通り側歩道から、エスカレーター又はエレベーターをご利用ください。
- ・「びぶれす熊日会館」の駐車場は、数に限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

広報用画像

広報用画像をご希望の方は下記内容をメールでお知らせください。

広報担当からご連絡いたします。

- ①掲載媒体・掲載時期
- ②希望画像 No.
- ③ご担当者様のお名前、ご連絡先（メールアドレス等）

【使用に際しての注意事項】

* 使用目的は、本展のご紹介に限ります。本展終了後の使用は出来ません。

ご使用後は（掲載、未掲載に関わらず）画像データを削除してください。

第三者への譲渡は禁止します。

* 必ず下記の **作品キャプション・クレジットを明記** してください。

* トリミング、部分使用、文字等を重ねての使用はできません。

* 再放送、転載など2次利用をされる場合には、別途申請いただきますようお願い致します。

* 基本情報、図版使用の確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で担当までお送りいただきますようお願い致します。

* 掲載紙・誌、同録DVD等を一部寄贈してください。

（WEB媒体の場合はURLをお知らせください）

* 会期中の会場取材・撮影をご希望の場合は広報担当までご連絡ください。

1. 《描く人》 © こうの史代
2. 《夕凪の街 桜の国》 カバーイラスト、2004年 © こうの史代／コアミックス
3. 《この世界の片隅に》 2007年 © こうの史代／コアミックス
4. 《ギガタウン 漫符図譜》 2016年 © こうの史代／朝日新聞出版
5. 制作風景 展示予定の動画より（撮影：白井茜）
6. 《こっこさん》 1999年 © こうの史代／エブリスタ
7. 《ぼおるぺん古事記》 1巻天の巻 表紙イラスト、2012年 © こうの史代／平凡社
8. 《ぴっぴら帳（ノート）》 口絵、2004年 © こうの史代／コアミックス
9. WEEKLY 漫画アクション新人賞募集イラスト、1992年 © こうの史代
10. 《長い道》 2001年 © こうの史代／コアミックス
11. 《街角花だより》 1995年 © こうの史代／コアミックス
12. 《かっぱのねね子》 2001年 © こうの史代／朝日新聞出版

画像一覧

